

## □要請番号 (JL03020A32)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ミャンマー	G161 体育		個別	交替 3代目	2年	・2020/2・2020/3・ 2021/1



## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名（日本語）

保健・スポーツ省

## 2) 配属機関名（日本語）

スポーツ体育研究所、ヤンゴン

## 3) 任地（ヤンゴン市） JICA事務所の所在地（ヤンゴン市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（徒歩で約0.0時間）

## 4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、エリート選手や指導者の育成、スポーツ研究を目的に1992年設立された。25種目に分かれた約500名の11-17歳の生徒を対象に通年トレーニングを実施している。各競技のトレーニングは主に早朝および夕方に実施され、選手たちは日中は学校に通っている。その他、地域のスポーツ団体コーチの研修、小学校教員への体育研修などのコースも開設されている。各種競技のコーチ約40名、その他職員約140名が勤務している。年間予算は約1億円。JICA海外協力隊については、2016年から派遣(体育短期SV)を開始。現在、長期隊員2名(陸上競技、バレー)が活動中。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

配属先は、2年毎に開催される東南アジア競技大会に出場するエリート選手の育成を目指している。しかし、配属先コーチが新たな技術や指導法を学べる機会は限られており、選手たちの技術力向上を図るうえでの課題となっている。配属先では各競技それぞれの専門トレーニング以外に、週に2回程度、ジムでの筋力トレーニングも実施している。先代のJICA海外協力隊員(2017年度3次隊、体育)は、選手たちの身体の成長や各種目の特性を考慮したトレーニングメニューの作成・実施、およびコーチの指導力向上へのサポートに取組んでおり、配属先からは高い評価を受けているが、現地コーチだけで十分に効果的な指導ができるまでには至っておらず、引き続き、JICAボランティアによる協力が求められている。

## 2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

- 各種目のコーチや生徒に対して、適切な筋力トレーニング方法を指導する。
  - 機材の適切な活用法を指導する。
  - 各種目や年齢に応じたトレーニング計画へのアドバイスや指導、ワークショップの開催も期待されている。
  - その他配属先が必要とする支援を行う。
- ※ミャンマーでは初中等教育において体育が十分に教えられておらず、大多数の生徒がスポーツ未経験者として入学する。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

トレーニングルーム、基本的なトレーニングマシン

#### 4) 配属先同僚及び活動対象者

校長:男性、50代

各種目コーチ48名

指導対象選手 約500名、11歳から17歳

(レベルは日本の中高の部活程度。入学時点では縄跳びや前転ができない生徒も多い)

#### 5) 活動使用言語

ミャンマー語

#### 6) 生活使用言語

ミャンマー語

#### 7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

### 【資格条件等】

[免許/資格等] : ( )

[学歴] : ( ) 備考 :

[性別] : ( ) 備考 :

[経験] : (指導経験) 5年以上 備考 : 各種目のコーチに指導するため

[参考情報] :

- ・スポーツジム等での指導経験

### 任地での乗物利用の必要性

不要

### 【地域概況】

[気候] : (熱帯モンスーン気候) 気温 : (17.5~37.0°C) [電気] : (安定)  
(位)

[水源] : (安定)

[通信] : (インターネット可 電話可)

### 【特記事項】

配属先敷地内の宿舎に居住する。任国の査証手続のため、他の国の同じ隊次より派遣時期が遅れる。

### 【類似職種】